

ボローニャの夕暮れ (2008)

IL PAPA DI GIOVANNA

メディア 映画

ジャンル ドラマ 戦争

製作国 イタリア

色彩 Color

時間 104分

初公開日 2010/06/26

公開情報 アルシネテラン

映倫 G

【キャッチコピー】

生きていくって、
寄り道ばかり。

【解説】

イタリアのベテラン監督プピ・アヴァティが、故郷ボローニャを舞台に撮り上げたホロ苦くも感動のある家族の絆の物語。主演は、本作の演技でヴェネチア国際映画祭主演男優賞に輝いたシルヴィオ・オルランド。共演にフランチェスカ・ネリ、アルバ・ロルヴァケル。1938年、第二次世界大戦前夜のイタリア、ボローニャ。高校の教師ミケーレは、同じ学校に通う最愛の一人娘ジョヴァンナのことを心配。美人の母デリアに対して劣等感を抱き、恋にも消極的な彼女にボーイフレンドが出来ればとお節介を焼く。ところが、それが思いも寄らぬ事件に発展してしまう。ついに戦争も始まり、平穏だった一家の日常は音を立てて崩れはじめていくのだが…。

【クレジット】

監督	プピ・アヴァティ	Pupi Avati	
製作	アントニオ・アヴァティ	Antonio Avati	
原案	プピ・アヴァティ	Pupi Avati	
脚本	プピ・アヴァティ	Pupi Avati	
	アントニオ・アヴァティ	Antonio Avati	
撮影	パスクアーレ・ラキーニ	Pasquale Rachini	
音楽	リズ・オルトラーニ	Riz Ortolani	
出演	シルヴィオ・オルランド	Silvio Orlando	ミケーレ
	フランチェスカ・ネリ	Francesca Neri	デリア
	アルバ・ロルヴァケル	Alba Rohrwacher	ジョヴァンナ
	セレナ・グランディ	Serena Grandi	
	エッジオ・グレッチオ	Ezio Greggio	